



TOP ATHLETES

海外主要選手

- ① 所属/国名
- ② 年齢
- ③ 世界ランキング
(世界シリーズランキング第2戦・バミューダ終了時点)
- ④ 主な成績



Flora Duffy
フローラ・ダフィー

- ① バミューダ諸島
- ② 31歳
- ③ 7位
- ④ 2016リオオリンピック 8位
2017WTSGFロテルダム 優勝
2018コモンウェルスゲームズ
ゴールドコースト 優勝



Rachel Klamer
レイチェル・クラマー

- ① オランダ
- ② 28歳
- ③ 2位
- ④ 2016リオオリンピック 10位
2017ETUヨーロッパアンカップ
ホルテン 優勝
2018WTSアブダビ 優勝



Kirsten Kasper
カーステン・カスパー

- ① アメリカ
- ② 27歳
- ③ 1位
- ④ 2017WCカリアリ 2位
2018WCニュープリマス 優勝
2018WCムルラバ 2位



Jessica Learmonth
ジェシカ・リアマンズ

- ① イギリス
- ② 30歳
- ③ 8位
- ④ 2017WTSGFロテルダム 3位
2018コモンウェルスゲームズ
ゴールドコースト 2位
2018WTSアブダビ 2位



Natalie Van Coevorden
ナタリー・バンクーボーデン

- ① オーストラリア
- ② 26歳
- ③ 9位
- ④ 2018OCキルダ 優勝
2018WTSアブダビ 3位
2018OCデボンポート 2位



Mario Mola
マリオ・モラ

- ① スペイン
- ② 28歳
- ③ 1位
- ④ 2012ロンドンオリンピック 19位
2016リオオリンピック 8位
2016・2017WTS横浜 優勝
2018WTSアブダビ 2位



Vincent Luis
バンサン・ルイ

- ① フランス
- ② 29歳
- ③ 9位
- ④ 2016リオオリンピック 7位
2017WTSGFロテルダム 優勝
2018WTSアブダビ 3位



Henri Schoeman
ヘンリ・スクーマン

- ① 南アフリカ
- ② 27歳
- ③ 2位
- ④ 2016リオオリンピック 3位
2018コモンウェルスゲームズ
ゴールドコースト 優勝
2018WTSアブダビ 優勝



Kristian Blummenfelt
クリスティアン・ブルメンフェルト

- ① ノルウェー
- ② 24歳
- ③ 7位
- ④ 2017WTSGFロテルダム 2位
2017WTS横浜 3位
2018WTSストックホルム 2位



Richard Murray
リチャード・マレー

- ① 南アフリカ
- ② 29歳
- ③ 4位
- ④ 2012ロンドンオリンピック 17位
2016リオオリンピック 4位
2017WCケープタウン 優勝
2017WCニュープリマス 優勝

WTS: ITU世界トライアスロンシリーズ WC: ITUトライアスロンワールドカップ AC: ASTCトライアスロンアジアカップ OC: OTUトライアスロンオセアニアカップ



TEAM JAPAN

日本代表選手

- ① 所属/国名
- ② 年齢
- ③ 世界ランキング
(世界シリーズランキング第2戦・パミュダ終了時点)
- ④ 主な成績



Ai Ueda
上田 藍

- ① ベリエ・グリーンタワー・ブリチストン・稲毛インター/千葉
- ② 35歳
- ③ 19位
- ④ 2008北京、2012ロンドン、2016リオオリンピック日本代表
2017WCトンヨン 2位
2017WCケープタウン 3位



Juri Ide
井出 樹里

- ① スポーツクラブNAS/神奈川
- ② 35歳
- ③ 23位
- ④ 2008北京、2012ロンドン
オリンピック日本代表
2017WCサラソタ 優勝
2017WTSゴールドコースト 3位



Yuka Sato
佐藤 優香

- ① トーシンパートナーズ、NTT東日本・NTT西日本、チームケズ/山梨
- ② 26歳
- ③ 4位
- ④ 2016リオオリンピック 15位
2017日本選手権 優勝
2017WCカリアリ 5位



Yuko Takahashi
高橋 侑子

- ① 富士通/東京
- ② 27歳
- ③ 5位
- ④ 2017ASTCアジア選手権
パレンバン 優勝
2017日本選手権 2位
2017WCウエルバ 4位



Fuka Sega
瀬賀 楓佳

- ① トーシンパートナーズ、チームケズ/山梨
- ② 20歳
- ③ 76位 ※ITU世界ランキング(4月30日時点)
- ④ 2017WTSジュニア
ロッテルダム 3位
2017AC香港 優勝
2017ASTC アジアジュニア選手権
パレンバン 優勝



Minami Kubono
久保菜 南

- ① トーシンパートナーズ、チームケズ/山梨
- ② 21歳
- ③ 105位 ※ITU世界ランキング(4月30日時点)
- ④ 2017日本選手権 4位
2017WCサリナス 7位
2018WCMルラバ 11位



Jumpei Furuya
古谷 純平

- ① 三井住友海上/東京
- ② 27歳
- ③ 37位 ※ITU世界ランキング(4月30日時点)
- ④ 2017WCユカタン 4位
2017ASTCアジア選手権
パレンバン 優勝
2017AC高松 優勝



Makoto Odakura
小田倉 真

- ① 三井住友海上/東京
- ② 25歳
- ③ 51位
- ④ 2017日本選手権 3位
2017ASTCアジア選手権
パレンバン 2位
2017AC村上 2位



Yuichi Hosoda
細田 雄一

- ① 博慈会/東京
- ② 34歳
- ③ 60位 ※ITU世界ランキング(4月30日時点)
- ④ 2012ロンドンオリンピック日本代表
2017日本選手権 2位
2017AC高松 2位



Ryosuke Maeda
前田 凌輔

- ① ベルリオ/愛知
- ② 23歳
- ③ 73位 ※ITU世界ランキング(4月30日時点)
- ④ 2017ACスービックベイ 優勝
2017CAMTRIAアメリカンカップ
プラーヤエルモサ 2位
2017ACニュータイバイ 4位

WTS: ITU世界トライアスロンシリーズ WC: ITUトライアスロンワールドカップ AC: ASTCトライアスロンアジアカップ OC: OTUトライアスロンオセアニアカップ

23

TEAM JAPAN



TOP PARA ATHLETES

主要パラトライアスロン選手

- ① 所属 / 国名
- ② 年齢
- ③ クラス
- ④ ITU パラトライアスロンランキング (2018年4月30日現在)
- ⑤ 主な成績

TOP ATHLETES 海外主要選手



Liisa Lilja
リーサ・リリア

- ① フィンランド
- ② 26歳
- ③ PTS2
- ④ 1位
- ⑤ 2017世界パラトライアスロン選手権 ロッテルダム 優勝
2017WPSエドモントン 優勝



Grace Norman
グレース・ノーマン

- ① アメリカ
- ② 20歳
- ③ PTS5
- ④ 1位
- ⑤ 2016リオパラリンピック 1位
2017世界パラトライアスロン選手権 ロッテルダム 優勝
2017WPSエドモントン 優勝



Geert Schipper
ヘルト・スキパー

- ① オランダ
- ② 41歳
- ③ PTWC
- ④ 1位
- ⑤ 2016リオパラリンピック 2位
2017WPS横浜 優勝
2017WPSエドモントン 優勝



Jamie Brown
ジェイミー・ブラウン

- ① アメリカ
- ② 39歳
- ③ PTS4
- ④ 1位
- ⑤ 2017WPS横浜 優勝
2017世界パラトライアスロン選手権 ロッテルダム 3位

TEAM JAPAN 日本代表選手



Wakako Tsuchida
土田 和歌子

- ① 八千代工業 / 東京
- ② 44歳
- ③ PTWC
- ④ 8位
- ⑤ 2017WPS横浜 優勝
2017ASTCアジアパラ選手権 スービックベイ 優勝
2018PWCデボンポート 3位



Yukako Hata
秦 由加子

- ① マーズフラッグ・稲毛インター / 千葉
- ② 37歳
- ③ PTS2
- ④ 3位
- ⑤ 2016リオパラリンピック 6位
2018PWCサラソタ 優勝
2017WPS横浜 4位



Mami Tani
谷 真海

- ① サントリー / 東京
- ② 36歳
- ③ PTS4
- ④ 2位
- ⑤ 2017WPS横浜 優勝
2017世界パラトライアスロン選手権 ロッテルダム 優勝
2017WPSエドモントン 優勝



Kenshiro Nakayama
中山 賢史郎

- ① 東京ガスパイプライン / 東京
- ② 28歳
- ③ PTS2
- ④ 10位
- ⑤ 2017ASTCアジアパラ選手権 スービックベイ 3位
2017PWCマゴグ 3位
2018PWCデボンポート 3位



Hideki Uda
宇田 秀生

- ① 滋賀県トライアスロン協会
- ② 31歳
- ③ PTS4
- ④ 3位
- ⑤ 2016WPS横浜 2位
2017WPSエドモントン 2位
2017世界パラトライアスロン選手権 ロッテルダム 4位



Keiichi Sato
佐藤 圭一

- ① エイベックグループ・ホールディングス / 愛知
- ② 39歳
- ③ PTS5
- ④ 7位
- ⑤ 2016リオパラリンピック 11位
2017WPS横浜 5位
2017WPSエドモントン 4位

WPS : ITU 世界パラトライアスロンシリーズ PWC : ITU パラトライアスロンワールドカップ

三菱電機

Going Up

キャンペーン



ひとつ上の自分へ。

東京2020オリンピック・パラリンピックの主役は選手だけじゃない。
楽しい時も、苦しい時も、ひとつずつ上をめざしつづける、
すべての人が主役だと僕は思う。

三菱電機は共生社会の理解を深めるために、
「Going Up キャンペーン」を全国で展開しています。



TOKYO 2020



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京2020オフィシャルパートナー(エレベーター・エスカレーター・ムービングワーク)



家庭から宇宙まで、エコチェンジ。